

日本初の家電リサイクル専用常設展示ブース 大阪・南港ATC内に、8月2日(火)オープン

将来の循環型社会を担う子供たちに「家電リサイクル」について分かりやすく紹介
【大阪・南港ATC 11階・おおさかATCグリーンエコプラザ内】

一般財団法人家電製品協会(所在地:東京都千代田区、理事長:沖津 雅浩)は、大阪・南港ATC・おおさかATCグリーンエコプラザ内に、将来の循環型社会を担う子供たちに「家電リサイクル」の取り組みを楽しみながら学んでいただける**日本初の常設展示ブースを、8月2日(火)オープンいたします。**



展示ブース完成イメージ

この展示ブースは、子供たちも日頃から馴染みがある家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)が、いったいどのような構造で、どのようにリサイクルされているのかを、実物商品や映像を活用し、ゲーム感覚で、楽しんで学んでいただけます。

2001年に「家電リサイクル制度」が施行され、既に21年が経過し、リサイクル率は増加傾向にあります。しかし、家電の買い替えサイクルは比較的長期(10~15年)であるため、制度の認識定着を図るためには、継続的に訴求していく必要があると考えています。

これまででも、リサイクル工場などでは、家電リサイクルに関する展示などを行っていましたが、さらなる認知拡大を図るために、より身近な場所での展開を模索していました。

そして、今回、日本初となる、常設展示ブースを、大阪・南港ATCにオープンすることになりました。子供たちが環境について学んでいただきやすく、来場しやすい場所で、2025年開催予定の大阪・関西万博エリアに隣接する施設であり、アジアで家電リサイクルを推進する機運が高まる中、日本の優れたリサイクル技術を幅広く発信できる国際情報発信基地としても期待しています。

<ブース展開目的>

将来の循環型社会を担う子供たちに「家電リサイクル」の取組を学べる施設として開設

■ 家電リサイクル対象4品目を覚えてもらう

対象4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)の、実物商品を断面カットした見本展示により、構造を分かりやすく紹介

■ 家電リサイクルのリサイクルプラントの取組について学んでもらう

大型モニターによるリサイクル工場の多彩な映像をベースにリサイクル現場の疑似体験を提供し、対象4品目がどのようにして、再資源化されているのかを紹介

<報道関係者のお問い合わせ先>

一般財団法人家電製品協会 環境部 担当/有馬(ありま) TEL:03-6741-5604

【常設展示イメージ】

**家電のリサイクルを
学んでみよう**

テレビのように法律でリサイクルすることが
決められている家電製品があります。
その法律を「家電リサイクル法」といいます。

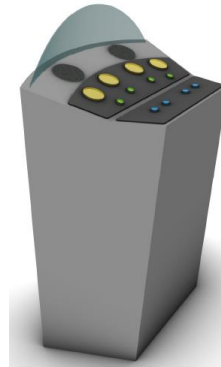
消費者
(家電製品を使った人)

製造業者
(家電製品を作った会社)

小売業者など
(家電製品を持った会社)

このコーナーで、

- リサイクルすることが定められている家電
- リサイクルされる素材とそのため技術について、実物や映像で楽しく学びましょう。



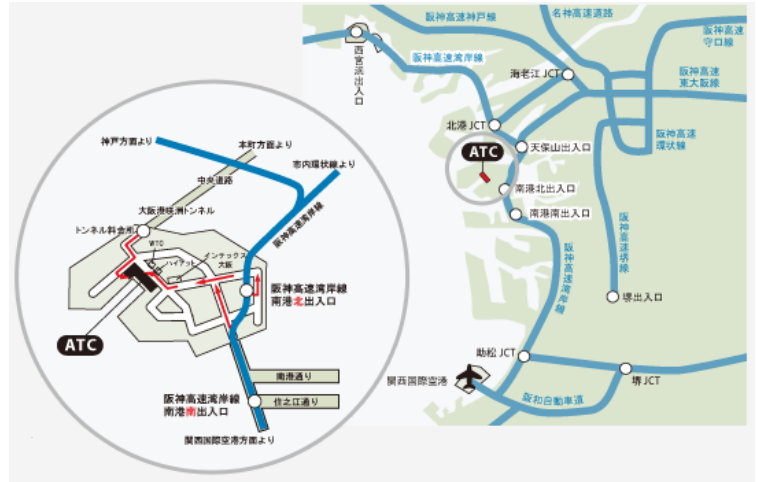
コックピットのような
映像切り替え装置で、
対象4商品がどのよう
に分別・解体され、
解体された部品など
がどのように、リサイ
クルされていくのかを
映像を通じて分かりや
すく紹介。

【常設展示施設「ATC」】



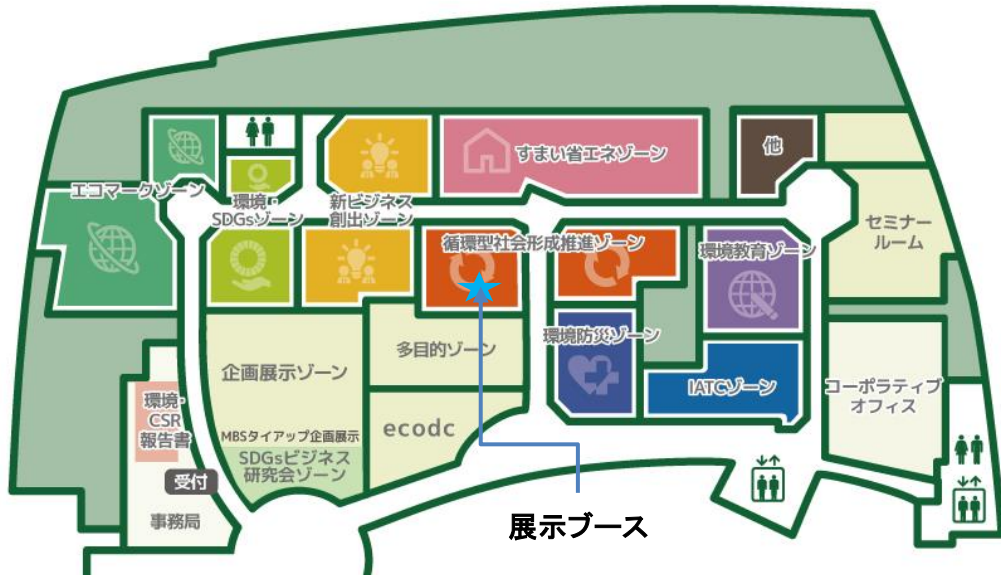
施設概要

- 所在地 大阪市住之江区南港北2丁目1-10
- アクセス 南港ポートタウン線ニュートラム「トレードセンター前」駅直結



■11階 おおさかATCグリーンエコプラザ

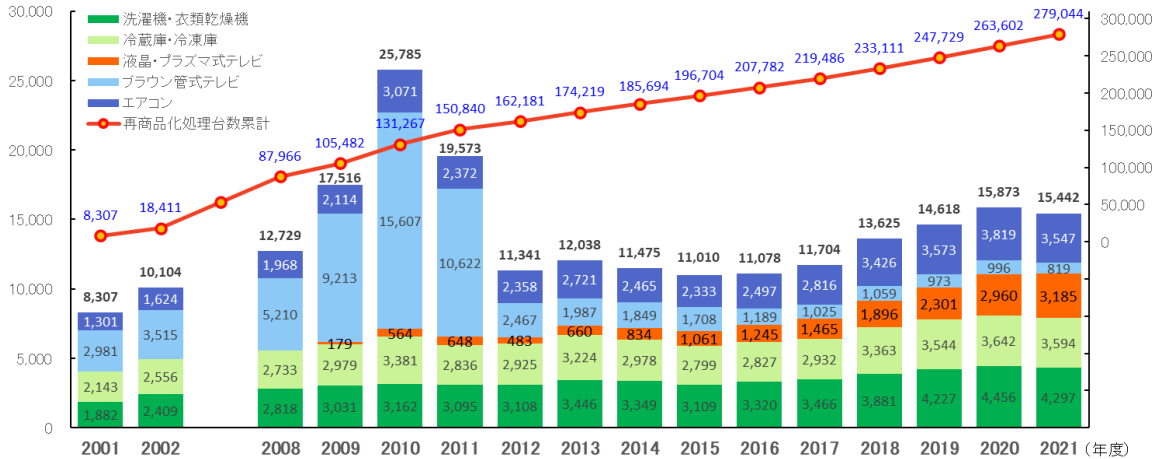
(環境ビジネスや環境経営に取り組む企業・団体の最新情報を広く一般に紹介する日本で最初の常設展示会場)



【参考】2021年家電リサイクル制度以降のリサイクル状況

2021年度の廃家電4品目の再商品化等処理台数は、約1,544万台

＜2001年家電リサイクル制度施行からの21年間の廃家電4品目累積処理台数＞



2021年度の品目別の再商品化率は、エアコン92%、ブラウン管式テレビ 72%、液晶・プラズマ式テレビ 85%、冷蔵庫・冷凍庫 80%、洗濯機・衣類乾燥機92%となり、家電リサイクル法に定められた再商品化等の基準値を上回る実績をあげている。

＜品目別再商品化率の推移＞

